

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	成長国高金利債券マザーファンドの受益証券
	成長国高金利債券マザーファンド	新興国通貨建ての債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②新興国通貨から原則として3通貨を選定し、投資対象通貨とします。</p> <p>イ. 投資対象候補とする新興国通貨をアジア地域、中南米地域、欧州・中東・アフリカ地域に分類し、地域ごとに1通貨を投資対象通貨として選定します。</p> <p>※投資対象候補はJ Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーGING・マーケット プロードの構成国を参考に決定します。</p> <p>ロ. 長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定します。選定にあたっては、債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模等を勘案します。</p> <p>③通貨の配分比率は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して決定します。</p> <p>④投資対象は、各国の政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する投資対象通貨建ての債券とします。</p> <p>※先進国の政府および政府関係機関等が発行する投資対象通貨建ての債券に投資を行なう場合があります。</p> <p>⑤外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

成長国高金利債券ファンド (毎月決算型) (愛称：Mr. スリー)

運用報告書(全体版)

第59期	(決算日	2015年2月12日)
第60期	(決算日	2015年3月11日)
第61期	(決算日	2015年4月13日)
第62期	(決算日	2015年5月11日)
第63期	(決算日	2015年6月11日)
第64期	(決算日	2015年7月13日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「成長国高金利債券ファンド（毎月決算型）（愛称：Mr. スリー）」は、このたび、第64期の決算を行ないました。

ここに、第59期～第64期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3117>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債入率	純資産額
	(分配落)	税込 分配 金	期騰 落 率	(参考指数)	期騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
35期末(2013年2月12日)	9,712	60	5.2	13,056	6.2	98.0	5,007
36期末(2013年3月11日)	9,827	60	1.8	13,275	1.7	96.6	4,871
37期末(2013年4月11日)	10,184	60	4.2	14,058	5.9	97.6	4,705
38期末(2013年5月13日)	10,283	60	1.6	14,460	2.9	97.2	4,558
39期末(2013年6月11日)	8,811	60	△ 13.7	13,001	△ 10.1	96.5	3,741
40期末(2013年7月11日)	8,470	60	△ 3.2	12,764	△ 1.8	97.4	3,527
41期末(2013年8月12日)	8,100	60	△ 3.7	12,484	△ 2.2	97.5	3,323
42期末(2013年9月11日)	7,889	60	△ 1.9	12,540	0.5	97.0	3,083
43期末(2013年10月11日)	7,978	60	△ 1.9	12,788	2.0	97.5	3,014
44期末(2013年11月11日)	7,669	60	△ 3.1	12,576	△ 1.7	96.5	2,768
45期末(2013年12月11日)	7,677	60	0.9	13,185	4.8	96.0	2,609
46期末(2014年1月14日)	7,521	60	△ 1.3	13,143	△ 0.3	97.1	2,427
47期末(2014年2月12日)	7,186	60	△ 3.7	12,748	△ 3.0	96.8	2,251
48期末(2014年3月11日)	7,650	60	△ 7.3	13,054	2.4	95.8	2,284
49期末(2014年4月11日)	7,851	60	△ 3.4	13,345	2.2	96.7	2,231
50期末(2014年5月12日)	7,842	60	0.6	13,530	1.4	96.6	2,102
51期末(2014年6月11日)	7,697	60	△ 1.1	13,764	1.7	96.2	1,985
52期末(2014年7月11日)	7,624	60	△ 0.2	13,712	△ 0.4	97.0	1,924
53期末(2014年8月11日)	7,522	60	△ 0.6	13,549	△ 1.2	97.3	1,846
54期末(2014年9月11日)	7,898	60	△ 5.8	14,153	4.5	95.9	1,875
55期末(2014年10月14日)	7,608	60	△ 2.9	14,026	△ 0.9	93.3	1,761
56期末(2014年11月11日)	7,916	60	△ 4.8	14,904	6.3	94.0	1,790
57期末(2014年12月11日)	7,938	60	1.0	14,821	△ 0.6	96.7	1,717
58期末(2015年1月13日)	7,953	60	0.9	14,718	△ 0.7	94.4	1,675
59期末(2015年2月12日)	7,841	60	△ 0.7	14,707	△ 0.1	97.0	1,586
60期末(2015年3月11日)	7,349	60	△ 5.5	14,293	△ 2.8	95.6	1,439
61期末(2015年4月13日)	7,524	60	△ 3.2	14,733	3.1	96.4	1,428
62期末(2015年5月11日)	7,291	60	△ 2.3	14,701	△ 0.2	94.6	1,323
63期末(2015年6月11日)	7,115	60	△ 1.6	14,713	0.1	96.3	1,247
64期末(2015年7月13日)	7,058	60	0.0	14,637	△ 0.5	95.9	1,193

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

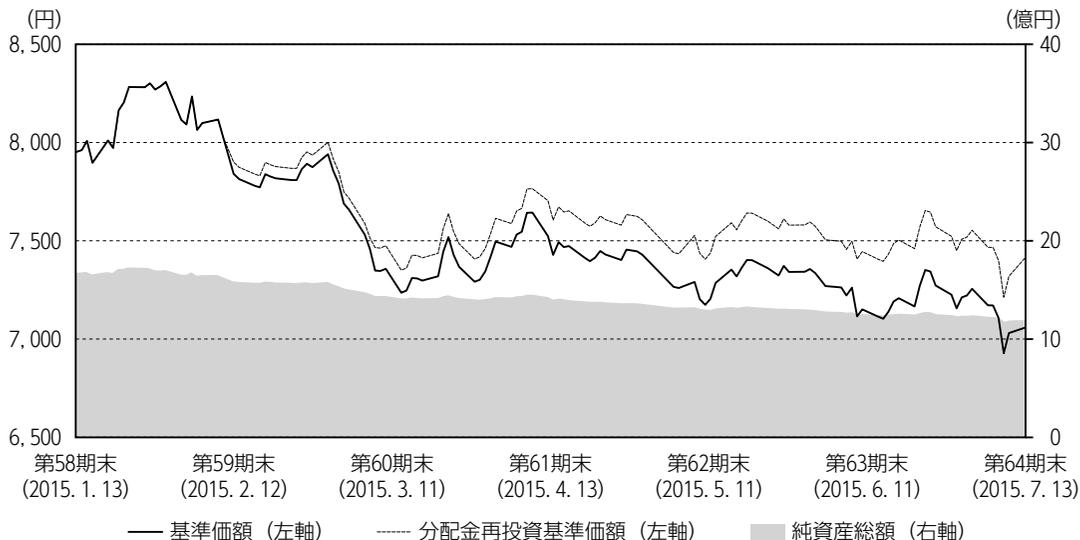
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第59期首：7,953円

第64期末：7,058円（既払分配金360円）

騰落率：△6.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入はプラスに寄与しましたが、債券価格の下落や為替相場が円に対して下落したことが、基準価額の値下がり要因となりました。

成長国高金利債券ファンド（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBI - EMブロード ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
		円	%		%	%
第59期	(期首) 2015年 1月13日	7,953	—	14,718	—	94.4
	1月末	8,308	4.5	14,897	1.2	92.8
第60期	(期末) 2015年 2月12日	7,901	△ 0.7	14,707	△ 0.1	97.0
	(期首) 2015年 2月12日	7,841	—	14,707	—	97.0
	2月末	7,875	0.4	14,782	0.5	97.6
第61期	(期末) 2015年 3月11日	7,409	△ 5.5	14,293	△ 2.8	95.6
	(期首) 2015年 3月11日	7,349	—	14,293	—	95.6
	3月末	7,302	△ 0.6	14,425	0.9	96.4
第62期	(期末) 2015年 4月13日	7,584	3.2	14,733	3.1	96.4
	(期首) 2015年 4月13日	7,524	—	14,733	—	96.4
	4月末	7,446	△ 1.0	14,770	0.3	96.4
第63期	(期末) 2015年 5月11日	7,351	△ 2.3	14,701	△ 0.2	94.6
	(期首) 2015年 5月11日	7,291	—	14,701	—	94.6
	5月末	7,342	0.7	14,903	1.4	95.7
第64期	(期末) 2015年 6月11日	7,175	△ 1.6	14,713	0.1	96.3
	(期首) 2015年 6月11日	7,115	—	14,713	—	96.3
	6月末	7,156	0.6	14,583	△ 0.9	96.6
	(期末) 2015年 7月13日	7,118	0.0	14,637	△ 0.5	95.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○債券市況

債券市況は、各国の個別要因に加えて、米国の金融政策の正常化への思惑等を受けて、総じて金利上昇（債券価格は下落）する展開となりました。

【インドネシア】

インドネシアでは、2015年2月の金融政策決定会合で市場予想に反して0.25%ポイントの利下げが行なわれ、政策金利を7.50%とすることが決定されて以降は、政策金利の据え置きが続きました。また5月には、格付会社S & Pが財政・金融セクターの管理改善に向けた政策を評価し、同国の格付け見通しを「ポジティブ」に上げました。債券市場では、インドネシアの経済成長が緩慢となるとの見方やインフレ圧力の高まりから、金利上昇となりました。

【ブラジル】

ブラジルでは、インフレへの警戒から政策金利の上げが連続で行なわれ、第64期末には13.75%となりました。債券市場では、通貨安がインフレ懸念を高めたことや、国営石油会社ペトロbrasに関する不正献金問題などを背景に大きく金利上昇する局面もありましたが、財政支出削減や増税など財政健全化への期待を背景に、金利上昇幅を縮小しました。

【南アフリカ】

南アフリカでは、政策金利の据え置きが続きました。債券市場では、海外要因に加えて、電力料金の上げなど将来のインフレが懸念され、金利は上昇しました。

○為替相場

対円為替相場は、新興国からの資金流出懸念等を背景に各通貨共に下落しました。

【インドネシア・ルピア】

インドネシアでのインフレ圧力の高まりや、同国の経済成長が緩慢となるとの見方を背景に、対円で軟調な推移となりました。

【ブラジル・レアル】

国営石油会社ペトロbrasに関する不正献金問題等が相場の重しとなり、対円で軟調な推移となりました。

【南アフリカ・ランド】

発表された経済指標に良好なものが見られたことを背景に堅調な推移となる局面もありましたが、外部要因に振られ、対円で軟調な推移となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き、「成長国高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○成長国高金利債券マザーファンド

新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

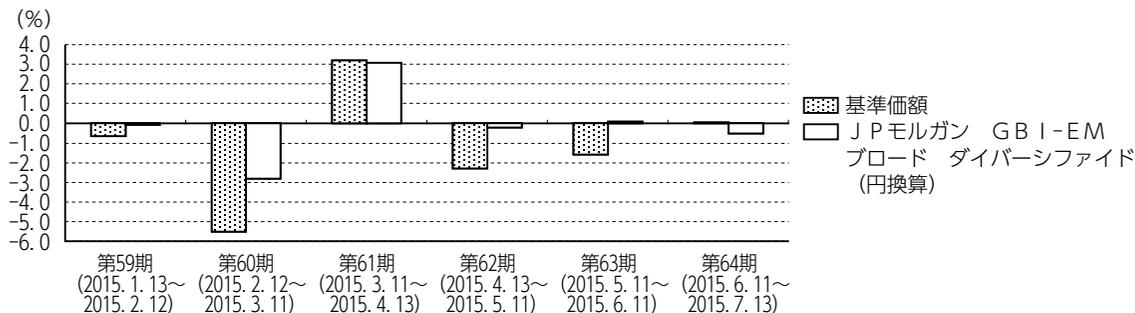
当作成期間を通じて「成長国高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○成長国高金利債券マザーファンド

- ・基本的な商品性格に基づき、アジア地域ではインドネシア・ルピア、中南米地域ではブラジル・レアル、欧州・中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドへ投資しました。通貨別の配分は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して配分しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで4.8（年）～6.5（年）程度としました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債を中心としたポートフォリオ構成としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第59期から第64期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	2015年1月14日 ～2015年2月12日	2015年2月13日 ～2015年3月11日	2015年3月12日 ～2015年4月13日	2015年4月14日 ～2015年5月11日	2015年5月12日 ～2015年6月11日	2015年6月12日 ～2015年7月13日
当期分配金（税込み）(円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.76	0.81	0.79	0.82	0.84	0.84
当期の収益(円)	44	39	54	40	44	44
当期の収益以外(円)	15	20	5	19	15	15
翌期繰越分配対象額(円)	763	743	737	718	703	687

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	44.08円	39.93円	54.15円	40.39円	44.96円	44.56円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収 益 調 整 金	169.65	170.19	172.58	173.26	173.82	174.49
(d) 分 配 準 備 積 立 金	609.89	593.45	571.13	564.63	544.51	528.85
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	823.62	803.58	797.87	778.30	763.30	747.90
(f) 分 配 金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	763.62	743.58	737.87	718.30	703.30	687.90

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き、「成長国高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○成長国高金利債券マザーファンド

引続き、新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第59期～第64期		項 目 の 概 要
	(2015. 1. 14～2015. 7. 13)		
	金 額	比 率	
信託報酬	54円	0.719%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,528円です。
(投信会社)	(24)	(0.322)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(28)	(0.376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	24	0.317	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(7)	(0.094)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(16)	(0.219)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	78	1.035	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

成長国高金利債券ファンド（毎月決算型）

■売買および取引の状況 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年1月14日から2015年7月13日まで)

決算期	第59期～第64期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
成長国高金利債券 マザーファンド	—	—	300,616	385,800

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第59期～第64期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表 親投資信託残高

種類	第58期末	第64期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
成長国高金利債券 マザーファンド	1,265,516	964,900	1,197,538

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年7月13日現在

項目	第64期末	
	評価額	比率
	千円	%
成長国高金利債券マザーファンド	1,197,538	98.8
コール・ローン等、その他	14,240	1.2
投資信託財産総額	1,211,778	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月13日における邦貨換算レートは、100インドネシア・ルピア=0.92円、1ブラジル・リアル=38.77円、1南アフリカ・ランド=9.81円です。

(注3) 成長国高金利債券マザーファンドにおいて、第64期末における外貨建純資産（1,179,981千円）の投資信託財産総額（1,203,449千円）に対する比率は、98.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年2月12日)、(2015年3月11日)、(2015年4月13日)、(2015年5月11日)、(2015年6月11日)、(2015年7月13日) 現在

項目	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末
(A) 資産	1,609,251,893円	1,455,610,642円	1,442,671,990円	1,338,030,432円	1,262,118,490円	1,211,778,842円
コール・ローン等	8,195,295	5,069,619	6,716,126	1,676,218	15,749,270	12,240,609
成長国高金利債券 マザーファンド（評価額）	1,594,056,598	1,448,541,023	1,435,955,864	1,320,354,214	1,246,369,220	1,197,538,233
未収入金	7,000,000	2,000,000	—	16,000,000	—	2,000,000
(B) 負債	22,321,564	16,038,425	14,055,400	14,060,762	14,600,640	18,100,699
未払収益分配金	12,144,094	11,752,730	11,392,486	10,895,524	10,520,444	10,146,766
未払解約金	8,166,076	2,598,526	769,352	1,608,388	2,431,609	6,327,020
未払信託報酬	2,000,217	1,666,675	1,862,660	1,517,465	1,600,263	1,569,819
その他未払費用	11,177	20,494	30,902	39,385	48,324	57,094
(C) 純資産総額 (A-B)	1,586,930,329	1,439,572,217	1,428,616,590	1,323,969,670	1,247,517,850	1,193,678,143
元本	2,024,015,796	1,958,788,346	1,898,747,708	1,815,920,720	1,753,407,492	1,691,127,810
次期繰越損益金	△ 437,085,467	△ 519,216,129	△ 470,131,118	△ 491,951,050	△ 505,889,642	△ 497,449,667
(D) 受益権総口数	2,024,015,796□	1,958,788,346□	1,898,747,708□	1,815,920,720□	1,753,407,492□	1,691,127,810□
1万口当り基準価額 (C/D)	7,841円	7,349円	7,524円	7,291円	7,115円	7,058円

* 第58期末における元本額は2,107,149,456円、当作成期間（第59期～第64期）中における追加設定元本額は16,985,583円、同解約元本額は433,007,229円です。

* 第64期末の計算口数当りの純資産額は7,058円です。

* 第64期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は497,449,667円です。

■損益の状況

項 目	第59期 自2015年1月14日 第60期 自2015年2月13日	至2015年2月12日 第61期 自2015年3月11日	第61期 自2015年3月12日 第62期 自2015年4月14日	至2015年4月13日 第63期 自2015年5月11日	第63期 自2015年5月12日 第64期 自2015年6月12日	至2015年6月11日 第64期 自2015年7月13日
(A) 配当等収益	286円	119円	162円	160円	126円	138円
受取利息	286	119	162	160	126	138
(B) 有価証券売買損益	△ 8,577,108	△ 82,787,652	46,392,633	△ 29,901,626	△ 18,744,209	2,194,373
売買益	2,151,988	518,236	46,739,321	668,768	473,471	3,134,976
売買損	△ 10,729,096	△ 83,305,888	△ 346,688	△ 30,570,394	△ 19,217,680	△ 940,603
(C) 信託報酬等	△ 2,011,394	△ 1,675,992	△ 1,873,068	△ 1,525,948	△ 1,609,202	△ 1,578,589
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 10,588,216	△ 84,463,525	44,519,727	△ 31,427,414	△ 20,353,285	615,922
(E) 前期繰越損益金	△ 252,733,304	△ 266,356,469	△ 350,075,383	△ 302,773,922	△ 332,894,176	△ 350,432,696
(F) 追加信託差損益金	△ 161,619,853	△ 156,643,405	△ 153,182,976	△ 146,854,190	△ 142,121,737	△ 137,486,127
(配当等相当額)	(34,337,495)	(33,336,828)	(32,769,582)	(31,463,895)	(30,478,891)	(29,508,894)
(売買損益相当額)	(△ 195,957,348)	(△ 189,980,233)	(△ 185,952,558)	(△ 178,318,085)	(△ 172,600,628)	(△ 166,995,021)
(G) 合計 (D+E+F)	△ 424,941,373	△ 507,463,399	△ 458,738,632	△ 481,055,526	△ 495,369,198	△ 487,302,901
(H) 収益分配金	△ 12,144,094	△ 11,752,730	△ 11,392,486	△ 10,895,524	△ 10,520,444	△ 10,146,766
次期繰越損益金 (G+H)	△ 437,085,467	△ 519,216,129	△ 470,131,118	△ 491,951,050	△ 505,889,642	△ 497,449,667
追加信託差損益金	△ 161,619,853	△ 156,643,405	△ 153,182,976	△ 146,854,190	△ 142,121,737	△ 137,486,127
(配当等相当額)	(34,337,495)	(33,336,828)	(32,769,582)	(31,463,895)	(30,478,891)	(29,508,894)
(売買損益相当額)	(△ 195,957,348)	(△ 189,980,233)	(△ 185,952,558)	(△ 178,318,085)	(△ 172,600,628)	(△ 166,995,021)
分配準備積立金	120,221,664	112,315,959	107,334,199	98,974,611	92,839,042	86,824,875
繰越損益金	△ 395,687,278	△ 474,888,683	△ 424,282,341	△ 444,071,471	△ 456,606,947	△ 446,788,415

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 846,290円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,922,187円	7,822,535円	10,282,089円	7,336,026円	7,884,635円	7,535,947円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	34,337,495	33,336,828	32,769,582	31,463,895	30,478,891	29,508,894
(d) 分配準備積立金	123,443,571	116,246,154	108,444,596	102,534,109	95,474,851	89,435,694
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	166,703,253	157,405,517	151,496,267	141,334,030	133,838,377	126,480,535
(f) 分配金	12,144,094	11,752,730	11,392,486	10,895,524	10,520,444	10,146,766
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	154,559,159	145,652,787	140,103,781	130,438,506	123,317,933	116,333,769
(h) 受益権総口数	2,024,015,796口	1,958,788,346口	1,898,747,708口	1,815,920,720口	1,753,407,492口	1,691,127,810口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
		60円	60円	60円	60円	60円
(単 価)	(7, 841円)	(7, 349円)	(7, 524円)	(7, 291円)	(7, 115円)	(7, 058円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年1月13日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は7,841円です。」

成長国高金利債券マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2015年7月13日)

(計算期間 2015年1月14日～2015年7月13日)

成長国高金利債券マザーファンドの第11期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての債券
運 用 方 法	<p>①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②新興国通貨から原則として3通貨を選定し、投資対象通貨とします。 イ. 投資対象候補とする新興国通貨をアジア地域、中南米地域、欧州・中東・アフリカ地域に分類し、地域ごとに1通貨を投資対象通貨として選定します。 ※投資対象候補はJ Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーGING・マーケットツ ブロードの構成国を参考に決定します。 ロ. 長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定します。選定にあたっては、債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模等を勘案します。</p> <p>③通貨の配分比率は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して決定します。</p> <p>④投資対象は、各国の政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する投資対象通貨建ての債券とします。 ※先進国の政府および政府関係機関等が発行する投資対象通貨建ての債券に投資を行なう場合があります。</p> <p>⑤外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

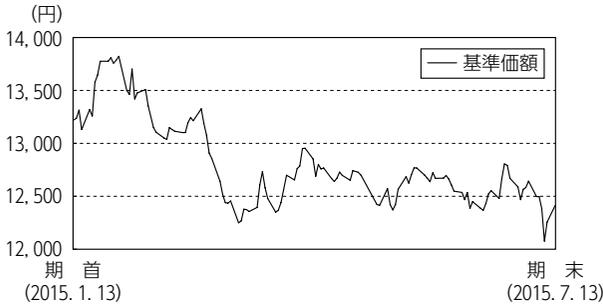
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組 入 比 率
	円	%	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2015年 1月13日	13,221	—	14,718	—	94.6
1 月末	13,822	4.5	14,897	1.2	92.9
2 月末	13,214	△ 0.1	14,782	0.4	97.6
3 月末	12,369	△ 6.4	14,425	△ 2.0	96.5
4 月末	12,727	△ 3.7	14,770	0.4	96.4
5 月末	12,669	△ 4.2	14,903	1.3	95.8
6 月末	12,468	△ 5.7	14,583	△ 0.9	96.7
(期末) 2015年 7月13日	12,411	△ 6.1	14,637	△ 0.5	95.5

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,221円 期末：12,411円 騰落率：△6.1%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラスに寄与しましたが、債券価格の下落や為替相場が円に対して下落したことが、基準価額の値下がり要因となりました。

◆投資環境について

○債券市況

債券市況は、各国の個別要因に加えて、米国の金融政策の正常化への思惑等を受けて、総じて金利上昇 (債券価格は下落) する展開となりました。

【インドネシア】

インドネシアでは、2015年2月の金融政策決定会合で市場予想に反して0.25%ポイントの利下げが行なわれ、政策金利を7.50%とすることが決定されて以降は、政策金利の据え置きが続きました。また5月には、格付会社S&Pが財政・金融セクターの管理改善に向けた政策を評価し、同国の格付け見通しを「ポジティブ」に上げました。債券市場では、インドネシアの経済成長が緩慢となるとの見方やインフレ圧力の高まりから、金利上昇となりました。

【ブラジル】

ブラジルでは、インフレへの警戒から政策金利の引上げが連続で行なわれ、期末には13.75%となりました。債券市場では、通貨安がインフレ懸念を高めたことや、国営石油会社ペトロプラスに関する不正献金問題などを背景に大きく金利上昇する局面もありましたが、財政支出削減や増税など財政健全化への期待を背景に、金利上昇幅を縮小しました。

【南アフリカ】

南アフリカでは、政策金利の据え置きが続きました。債券市場では、海外要因に加えて、電力料金の引上げなど将来のインフレが懸念され、金利は上昇しました。

○為替相場

対円為替相場は、新興国からの資金流出懸念等を背景に各通貨共に下落しました。

【インドネシア・ルピア】

インドネシアでのインフレ圧力の高まりや、同国の経済成長が緩慢となるとの見方を背景に、対円で軟調な推移となりました。

【ブラジル・レアル】

国営石油会社ペトロプラスに関する不正献金問題等が相場の重しとなり、対円で軟調な推移となりました。

【南アフリカ・ランド】

発表された経済指標に良好なものが見られたことを背景に堅調な推移となる局面もありましたが、外部要因に振られ、対円で軟調な推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

- ・基本的な商品性格に基づき、アジア地域ではインドネシア・ルピア、中南米地域ではブラジル・レアル、欧州・中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランドへ投資しました。通貨別の配分は、各国の経済状況、財政状況、金融市場動向、社会情勢等を分析し、金利や為替の水準と方向性を考慮して配分しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで4.8 (年) ~6.5 (年) 程度としました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債を中心としたポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引続き、新興国通貨から、長期的な視点で、金利水準が高く成長力のある国の通貨を選定し、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	40
(保管費用)	(12)
(その他)	(28)
合 計	40

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年1月14日から2015年7月13日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
	千円		千円
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/1/1	179, 571	Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 11% 2025/9/15	109, 766
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.75% 2048/2/28	109, 184	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15	70, 017
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2015/7/1	90, 150	Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.375% 2034/3/15	66, 787
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2021/1/1	42, 141	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2021/1/1	63, 073
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2025/1/1	41, 339	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.75% 2048/2/28	60, 945
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 13.5% 2015/9/15	36, 596	Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 12.8% 2021/6/15	56, 285
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 7.25% 2016/2/8	33, 846	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 2015/8/20	45, 600
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10.5% 2026/12/21	36, 576
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 13.5% 2015/9/15	36, 405
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2023/1/1	34, 941

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年1月14日から2015年7月13日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	インドネシア	千インドネシア・ルピア 国債証券 —	千インドネシア・ルピア 27, 069, 230 (—)
		3, 644, 600 特殊債券	4, 800, 000 (—)
国	ブラジル	千ブラジル・リアル 8, 659 国債証券	千ブラジル・リアル 3, 256 (4, 300)
		千南アフリカ・ランド 14, 203 国債証券	千南アフリカ・ランド 25, 338 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

成長国高金利債券マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
インドネシア	千インドネシア・ルピア 38,700,000	千インドネシア・ルピア 42,568,074	千円 391,626	32.7 %	— %	29.9 %	— %	2.8 %
ブラジル	千ブラジル・レアル 10,730	千ブラジル・レアル 9,784	379,355	31.7	—	8.0	—	23.7
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 37,850	千南アフリカ・ランド 38,047	373,246	31.2	—	23.4	4.8	2.9
合 計	—	—	1,144,228	95.5	—	61.3	4.8	29.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期			末		償 還 年 月 日
				額 面 金 額	評 価 額				
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			
インドネシア	Indonesia Treasury Bond	国債証券	11.0000 %	千インドネシア・ルピア 22,000,000	千インドネシア・ルピア 25,869,580	千円 238,000		2025/09/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	10.5000	2,000,000	2,330,140	21,437		2030/08/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	5.6250	1,000,000	847,470	7,796		2023/05/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.3750	10,000,000	9,860,400	90,715		2034/03/15	
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2500	3,700,000	3,660,484	33,676		2016/02/08	
通貨小計	銘柄数 金 額	5 銘柄		38,700,000	42,568,074	391,626			
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	千ブラジル・レアル 1,780	千ブラジル・レアル 1,606	62,277		2021/01/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	6,950	6,529	253,133		2016/01/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	1,000	783	30,362		2017/07/01	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	1,000	866	33,581		2025/01/01	
通貨小計	銘柄数 金 額	4 銘柄		10,730	9,784	379,355			
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.2500	千南アフリカ・ランド 6,000	千南アフリカ・ランド 5,902	57,906		2020/01/15	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	6,350	7,414	72,733		2026/12/21	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	2,000	1,519	14,904		2036/03/31	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.7500	3,000	2,946	28,904		2023/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	17,000	16,722	164,051		2048/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	13.5000	3,500	3,541	34,745		2015/09/15	
通貨小計	銘柄数 金 額	6 銘柄		37,850	38,047	373,246			
合 計	銘柄数 金 額	15 銘柄				1,144,228			

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年7月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	1,144,228	95.1
コール・ローン等、その他	59,221	4.9
投資信託財産総額	1,203,449	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月13日における邦貨換算レートは、100インドネシア・ルピア=0.92円、1ブラジル・レアル=38.77円、1南アフリカ・ランド=9.81円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,179,981千円)の投資信託財産総額(1,203,449千円)に対する比率は、98.0%です。

■損益の状況

当期 自2015年1月14日 至2015年7月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	57,783,271円
受取利息	57,783,271
(B) 有価証券売買損益	△ 143,187,129
売買益	8,830,832
売買損	△ 152,017,961
(C) その他費用	△ 4,465,681
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 89,869,539
(E) 前期繰越損益金	407,685,321
(F) 解約差損益金	△ 85,183,805
(G) 合計 (D + E + F)	232,631,977
次期繰越損益金 (G)	232,631,977

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年7月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,208,327,137円
コール・ローン等	38,752,976
公社債 (評価額)	1,144,228,178
未収入金	4,880,000
未取利息	19,013,816
前払費用	1,452,167
(B) 負債	10,794,480
未払金	8,794,480
未払解約金	2,000,000
(C) 純資産総額 (A - B)	1,197,532,657
元本	964,900,680
次期繰越損益金	232,631,977
(D) 受益権総口数	964,900,680口
1万口当り基準価額 (C / D)	12,411円

* 期首における元本額は1,265,516,875円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は300,616,195円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、成長国高金利債券ファンド(毎月決算型)964,900,680円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,411円です。